

議会だより そとがはま

第68号

令和4年5月

議会を傍聴しませんか

◆次の定例会予定

6月6日(月)~8日(水)

外ヶ浜町公式ホームページ ● <http://www.town.sotogahama.lg.jp>



陸奥湾フェリー「かもしか」今年度初出航!

目次

○第132回3月定例会／2～9

○一般質問：5議員が登壇／10～14

○令和3年度採決結果一覧／15

○議員表彰ほか／16

一般会計・特別会計・企業会計

総額92億9,649万円を可決

3 八人委員会

第132回定例会は、3月4日から10日までの7日間の日程で開催。令和4年度各当初予算案、令和3年度各補正予算案、町条例の一部改正案と廃止などを審議しました。

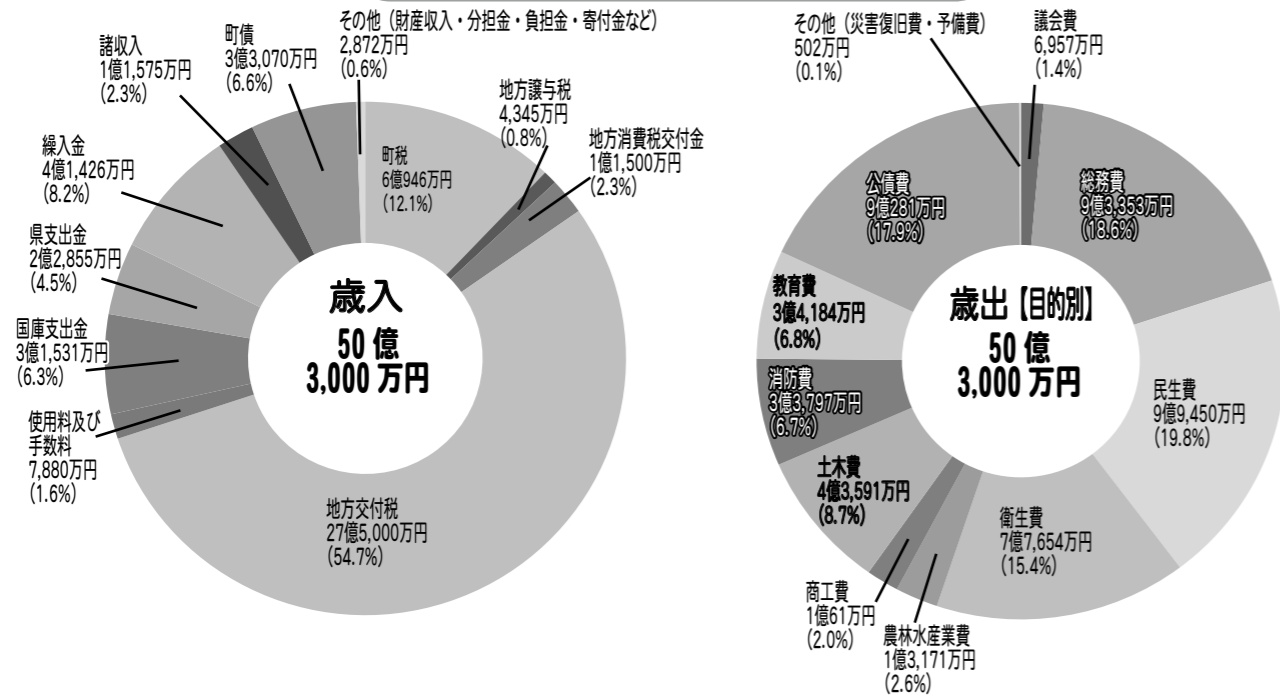
令和4年度の一般会計、特別会計、企業会計の当初予算案については、予算特別委員会を設置し、集中審査の結果、全て原案のとおり可決しました。一般質問は、5人の議員が行いました。詳細は登壇順に10〜14ページに掲載しています。

一般会計
 50億3千万円に
 (前年度より1億2400万円増加)

予算特別委員会(三上 満 委員長)は、3月7〜9日の3日間にわたって開催され、一般会計と8つの特別会計、2つの企業会計について慎重に審査しました。ここでは、当初予算の状況を掲載するとともに、特別委員会の審査の中から主な質疑をとりあげ、内容を要約してお伝えします。

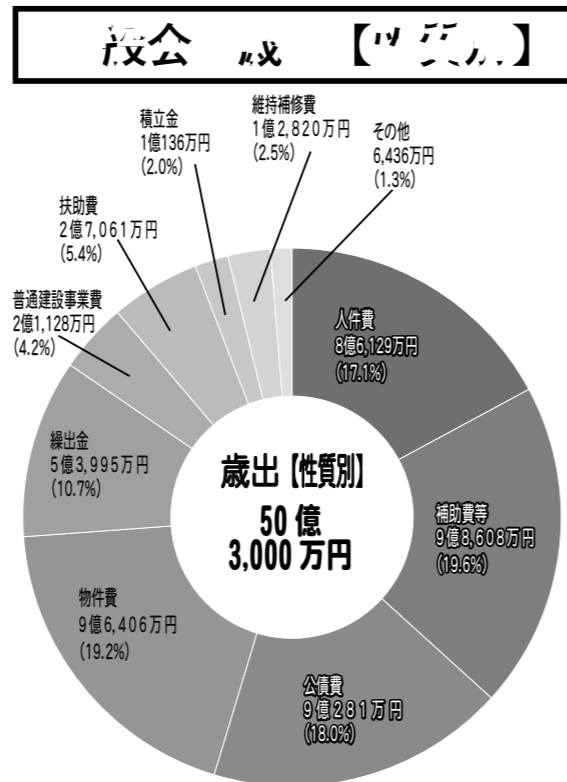
令和4年度予算

一般会計予算の内訳



一般会計歳出の主なもの

大平山元遺跡整備事業	5,188万円
除排雪機械購入事業	3,694万円
道路舗装補修事業(オドシ山麓線)	1,757万円
消防自動車購入事業	1,516万円
新型コロナウイルスワクチン接種事業	1,172万円
階段国道周辺整備等設計委託料	889万円
廃棄物処理施設基幹の設備改良事業	880万円
各種予防接種事業(インフルエンザ・風疹等)	831万円
児童生徒就学援助費	307万円
防災無線更新事業	225万円
旧平館小中学校活用実施設計業務委託料	55万円
こども園運営費補助事業	50万円
空き家対策事業	24万円
不妊治療支援助成事業	24万円



令和4年度一般・特別会計の予算額(歳出)

会計名	令和4年度	歳出の前年度比
一般会計	50億3,000万円	2.5%
国民健康保険特別会計	10億1,300万円	8.3%
介護保険特別会計	12億4,600万円	0.6%
大字費特別会計	90万円	0%
平館財産区特別会計	0万円	0%
根岸財産区特別会計	0万円	0%
野田財産区特別会計	0万円	0%
下水道特別会計	2億8,000万円	11.1%
後期高齢者医療特別会計	1億700万円	4.9%
合計	76億7,690万円	3.3%

※平館・根岸・野田財産区特別会計は2千円のため0万円と表記した。

令和4年度企業会計の予算額(歳出)

会計名	令和4年度	歳出の前年度比
病院事業会計	11億8,626万円	▲1.2%
簡易水道事業会計	4億3,333万円	▲0.4%
合計	16億1,959万円	▲1.0%

、たが（女）

地域おこし協力隊

問 大平山元遺跡が世界遺産登録され、それの中から町のPRというのが地域おこし協力隊の業務だと思うが、来年度の活動計画は。

答 現在活動している方が今年度で退任する予定なので、次年度から新たな地域おこし協力隊を募集する予定である。今のところ町のPR活動、情報発信等を含めて地域おこし協力隊にお願いすることとしている。龍飛ヒラメ養殖生産組合においても後継者不足があるので、そちら等々で活躍できればと、現在の構想の中では考えている。

旧平館小学校校利活用

問 旧平館小学校校利活用に関するアンケート

答 不妊治療に関して、国からの情報は、つかんでいない。不妊治療の経費については、現在は個人負担となっている。治療の種類によっては何十数万円もかかるということも、県で30万円を上限として助成の制度がある。国の情報では、この4月からは保険適用になる予定となっている。保険医療の適用になれば、通常であれば3割負担ということになり、出た分は高額療養費でカバーできることになっている。

不妊治療支援助成金

問 不妊治療に関して、国からの情報は、つかんでいないか。

答 不妊治療の経費については、現在は個人負担となっている。治療の種類によっては何十数万円もかかるということも、県で30万円を上限として助成の制度がある。国の情報では、この4月からは保険適用になる予定となっている。保険医療の適用になれば、通常であれば3割負担ということになり、出た分は高額療養費でカバーできることになっている。

漁業の担い手確保

問 漁業の担い手の確保については、漁協が先頭になってやっていかなければならないと思うが、漁業をやっても後継者がいない、後継ぎがいなくて廃業という漁業者

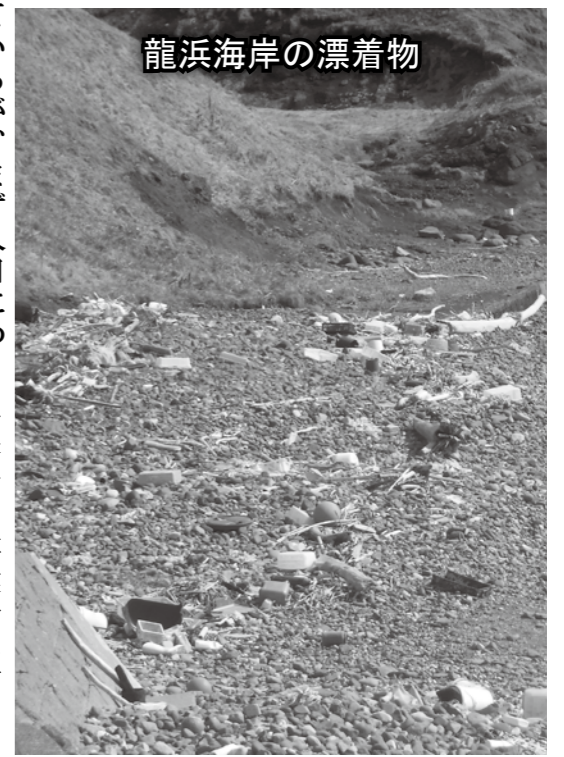
の結果が、実施設計に反映されるのか。

答 アンケート調査において、町民から利用しやすいアイデア等募集していたので、それとあわせて、いわゆる関係人口（都市部に拠点を置きながらも、地方の課題に関心を持ち、積極的に関わってくれる人）と言われる方々の御意見も伺っている。それらとあわせて、実施設計に反映させ、地元の方々が利用しやすい方法でいきなると考えている。

海岸漂着物対策

問 今年度は、海岸漂着物が例年から見ても多い。流木あるいは漁網、プラスチック等々、足着く場がないほど漂着している。この撤去について、今後どのような計画で進めて行くのか。

答 海岸漂着物地域対策推進事業は毎年行っ



龍浜海岸の漂着物

ているが、まず人目にくところを優先的にやっている。県交付の補助決定がなされてからの着手となる。

骨髄移植ドナー等支援事業助成金

問 骨髄移植ドナー等支援事業助成金について説明いただきたい。

答 骨髄を提供した個人に、要した通院、入院に対して1日2万円、7日間を上限として奨励金を支給するというものである。あわせて、その

インフルエンザ予防接種

問 昨今のコロナが蔓延して、重症化した場合、肺炎という形になって悪くなっていくのが多

答 青森県で骨髄移植を受けてくれる病院は、青森県立中央病院と弘前大学病院のみである。

いじめ問題

問 コロナウイルス感染症が終息していない中で、学校での制約や家族で旅行にも行けない状況にあって、児童生徒は大変な心の負担及び不満がうっ積しているものと考えられる。学校においてそのような変化や異常を訴える児童生徒があったのかどうか伺う。

答 いじめの件数については若干発生している。1学期、2学期とも数件発生している。ただ、学校現場からは、特段悪質なものや重大案件につながるものはないというところで伺っている。

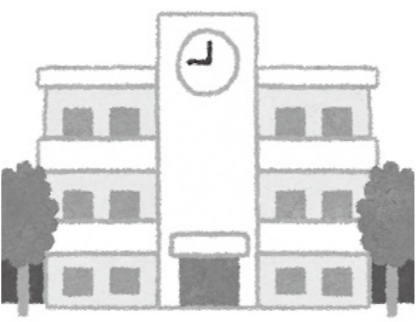
いじめ問題

問 いじめ問題に関しては、今後とも児童生徒の変化、SOSを見逃さないように気をつけていただきたい。

答 子どもたちも、コロナによって思うよう

い傾向にある。コロナ予防で、皆さんが手洗いかマスクとか予防対策している。昨年のインフルエンザの罹患率もかなり減っている。ただ、コロナと関連した場合、インフルエンザの予防接種を受けておいた方がプラスになるのではという報道も見聞きしている。そういう啓発活動を住民に対してやった方がいいと思うのだが、町としてどう考えているか。

答 令和3年度の見込みとして、高齢者のインフルエンザの接種率は増えている。コロナとあわせてかかるのを予防するためにもインフルエンザの予防接種を推奨している。啓発活動についても、毎年広報や毎戸チラシ等を配布しているが、今後は、もう少し積極的に受けてもらえるような啓発活動を考えていきたい。



にストレスを発生できない状況なので、球技大会等で発散できるようにしたり、まめな教育相談、スクールカウンセラーとの相談、学期ごとにアンケートを実施し、子どもたちの実態を調査できるようにしている。もし、いじめが発生した場合は、速やかに対応して、重大事態に至らないように対応している。まだコロナが続いているので、子どもたちの心のありようについて十分気を付けて、子どもたちの安心安全に十分配慮していきたい。



たがひん（女児）

国民健康保険 特別会計

国保の高額医療について

問 国保の高額療養費は、還付するから領収書を持参してくださいという通知が来る。後期高齢者の高額療養費は、払い込みましたと通知が来て、窓口まで行く必要がない。その辺の違いについてお知らせいただきたい。

答 後期高齢者に関して、は、広域連合から医療費のデータが一括で来るので、一旦口座を登録すれば1回の申請で済むシステムである。しかし、国民健康保険に関しては、1回の申請で全て終わらないというシステムになっていない。今後システムの改修がされれば、後期高



齢者と同じように1回申請すれば振り込むという形も出来るかと思うので、今後検討していきたい。

介護保険 特別会計

介護予防生活支援サービス事業

問 65歳以上で介護認定を受けていない方が、食生活の改善ということと弁当をお願いしたい場合は、介護の制度の対象になっていない方でもお願いできるのか伺う。

答 配食サービス事業については、おおむね

65歳以上のひとり暮らしの方や高齢者のみの世帯の方、要支援1、2の方が対象者となっている。

下水道 特別会計

加入率アップに向けて

問 今後、下水道の加入率をアップさせていくために、具体的な対策を講じる必要があると考えるが、町では何か考えていることがあるのか。

答 町では、加入の奨励金として6万円もしくはは工事費の10分の1で少ないほうの額を支給している。貸付金として、くみ取り式を下水道になく場合は60万円を上限とし、また、浄化槽を下水道になく場合は、上限35万円もしくはは工事に必要な額のより少ない額を貸付けできることになっている。

後期高齢者医療 特別会計

2割負担新設

問 75歳以上の方で、医療費1割負担から2割負担になる方々はどれくらいいるのか。

答 青森県全体では大体12・7%の方が2割負担になると思われる。外ヶ浜町では10%以下になると積算している。

病院事業会計

新病院基礎調査支援業務

問 新病院基礎調査支援業務委託料の、基礎調査支援業務とはどのようなものなのか。

答 これは、基礎調査の予備的な調査に分かれる。基礎調査の支援業務は、概算事業費や整備ス



簡易水道 事業会計

漏水調査業務

問 蟹田地区の浄水場で供給した水量に対して、メーターで測った水量の差が大きすぎる。どういう対策を講じているのか。

答 今年度の漏水調査で、中師宮本地区が漏水しているだろうとの調査結果が出ている。この地区の漏水を絞り込んで、漏水しているのであれば掘って直していきたいと考えている。

一般会計

戒 修 議員

賛成 本案は、人口減少により主要財源である普通交付税の減少が見込まれる中で、町民生活の安定と向上に留意し、現状、行政が取り組むべき最善の政策を選択したものであり、限られた財源を効率的に運用するために、工夫に満ちた予算配分がされているものと考えている。町長は、提案理由の中で、持続可能なまちづくりを進めていくとの決意を述べられている。この理念に基づいて計画、提案された令和4年度一般会計予算案は、どの方向からも否定されるべき何物もなく、自信をもって賛成するべきものと確信している。各議員の賛同をお願いし、私の討論とする。

一般会計

石岡 勉 議員

反対 教育費の中にある外ヶ浜小中学校の研究事業の費用について、10年間という限られた期間の予算措置で研修を予定しているわけだが、この2年あまりの間、コロナ禍において実施できなかった。また、令和4年度において、いままだ見えない。教育の予算というものは、我が町に育つ子どもたちすべからず、長い期間で、予算措置するべきものと考えている。また、海外研修において、第一に台湾ありきで話ができて上がっているような気がしてならない。戦争、世界平和を考えるならば、我が日本国内においても研修する施設はある。令和4年度も、この予算がある限り、私は反対する。

国民健康保険 特別会計

安藤 英博 議員

反対 国民健康保険税は、高く払いきれないという悲鳴が上がっている。その原因の一つは、均等割があり一人当たりの均等割は生まれてきたばかりの子どもにも3万3000円もかかり、非常に重い負担になっている。対象年齢と軽減割合をさらに拡充するために、財政措置を取る必要がある。また、保険料、収納率、給付適正化との努力に対しての交付金を増減額する保険者協力支援制度は、自治体財政に対する締めつけ強化になるのではないかと心配される。高い国保税の引下げと、均等割のさらなる改善を強く求め、反対討論とする。

後期高齢者医療 特別会計

原 芳雄 議員

反対 我が町の高齢化率は県内で2番目に高い状態にある。こうした中で、国は75歳以上の医療費窓口負担原則1割に、2割負担を導入しようとしている。今、コロナ禍で、物価は高騰、その一方で年金の引下げで4月から0・4%の削減が行われる。加えて保険料の特例的な軽減の見直しもあり、年金で細々と暮らしている高齢者いじめの保険制度である。年齢でくり、高齢者を別枠の医療保険に強制的に抱え込み、負担増と差別医療を押しつけるこの制度の廃止を国に求める意思を込めて、昨年を引き続き本案に対して反対の討論とする。

簡易水道 事業会計

安藤 英博 議員

反対 多くの世帯の方々は少ない年金生活であり、生活も大変厳しい中で暮らしている。そんな中で、全世帯の5割近い方々が、基本水量以下の利用であり、その方々からも水道基本料の1900円を徴収している。町の福祉行政を前進させるためにも、水道基本料金の引下げのために水道基本料金、料金体系を8立方メートルから5立方メートルに引下げなどの訴えをしてきたが、その実現性が見えない。よって、反対討論とする。

賛成 本案は、人口減少により主要財源である普通交付税の減少が見込まれる中で、町民生活の安定と向上に留意し、現状、行政が取り組むべき最善の政策を選択したものであり、限られた財源を効率的に運用するために、工夫に満ちた予算配分がされているものと考えている。町長は、提案理由の中で、持続可能なまちづくりを進めていくとの決意を述べられている。この理念に基づいて計画、提案された令和4年度一般会計予算案は、どの方向からも否定されるべき何物もなく、自信をもって賛成するべきものと確信している。各議員の賛同をお願いし、私の討論とする。

賛成9・反対1で可決

賛成7・反対3で可決

賛成8・反対2で可決

賛成8・反対2で可決



一般会計補正予算

立木売却収入

3244万8000円の立木売却収入。

全部で売買契約が8件の20カ所となっている。

場所は、主に大平の部分林組合と中師の部分林組合、あと蟹田小学校、中学校の学校林と、旧三厩村の直営の場所と



町有林

なっている。面積とすれば合計で63・8ヘクタールとなっている。

保育士等処遇改善臨時特例交付金

この交付金が本場に一人一人の処遇改善につながっているか、役場側で検証しているか。

今回の交付金については、国におけるコロナ克服新時代改革のための給与対策ということで、月額9000円引き上げるための補助である。

。今回に関しては、これで少しでも処遇改善、給与を底上げできるものと考えている。

三厩健康増進センター(よしつねの湯)修繕

この修繕費の内容は。

一つは、浴槽のふち板で、一部剥がれているのを修理するものである。もう一つは、若干不具合が出ているろ過装置の修繕である。電源装置、ほかの消耗部材も一緒に取替えて、36万3000円という予算内容となっている。

道路維持費

三厩地区のあじさいロードのあじさいが、草のツルや葉っぱに隠されてしまつて非常に見苦しい。観光資源としてあじさいロードを守るためにも、町がボランティア



あじさいロードのあじさい

を募るといふ考えはないのか伺いたい。

県のほうでは、歩道も含めて草刈りを実施している。例えば、今の段階では、県の草刈りのタイミングに合わせて刈った草をそこに置けば回収は業者さんにやってもらうとか出来るはずだと思ふが、今後、地域整備部でどのくらいまで出来るか話していきたいと考えている。

3月補正予算の状況

一般会計・特別会計

会計名	補正額	補正後の予算額
一般会計	5億1,508万5千円	62億2,375万5千円
国民健康保険特別会計	1億424万3千円	10億3,900万円
介護保険特別会計	39万1千円	12億5,077万7千円
大字費特別会計	▲4万4千円	85万6千円
野田財産区特別会計	▲105万4千円	94万8千円
下水道特別会計	22万8千円	2億5,758万5千円
後期高齢者医療特別会計	▲67万2千円	1億162万8千円

企業会計

会計名	補正額	補正後の予算額
病院事業会計(収益的収入支出)	▲3,390万円	10億9,361万4千円
病院事業会計(資本的収入)	2,490万1千円	5,987万5千円
病院事業会計(資本的支出)	▲29万1千円	7,561万円
簡易水道事業会計(収益的収入支出)	22万6千円	2億6,072万6千円
簡易水道事業会計(資本的支出)	▲1,000万円	1億6,734万9千円

◎3月定例会において審議され、可決された条例案は、次のとおりです。

- ① 外ヶ浜町喪章条例等の一部を改正する条例案
- ② 外ヶ浜町国民健康保険条例の一部を改正する条例案
- ③ 外ヶ浜町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例案
- ④ 外ヶ浜町消防団条例の一部を改正する条例案
- ⑤ 外ヶ浜町土地開発基金条例を廃止する条例案

たがひ(改定)

(外ヶ浜町消防団条例の一部を改正する条例案について)

年額報酬の改正のほかに、消防団員を確保する方策について、何か考えているのか。

今般、消防団員の減少に歯止めをかけるための処遇改善として、国から団員報酬の改正について積極的に進めるよう通達があった。外ヶ浜

町においても東青管内と足並みを揃えながら団員報酬を値上げすることとし、団員の確保に努めた。なお、その他の方策としては団員出動手当を災害時等においては、これまで25000円であったものを40000円に引き上げ、8時間以上であれば80000円という形で引き上げることとしている。また、団員の確保については、随時各消防団、消防団長のほうで勧誘するなど、活動を幹部



平成29年度外ヶ浜町消防団観閲式の様子

会議においてお願いしているところである。報酬の支払方法は、個々の団にまよめて

支払うという方法なのか。それとも団員個人に座ないし現金などで個人に支払うという形をとっているのか。

支払方法だが、基本的には個人に支払うものである。ただ、外ヶ浜町と近隣町村においては、各団のほうにまとめて払っている。今後、団員報酬または出動手当に改正されることによつて、国からは各個人に支給するよう指導が入っている。次年度1月1日をめどに団員報酬の個人支払いの作業を進めていきたいと考えている。

各団員が退団するときは、退職金を出すはずだが、この年報酬が変わっても各年数に応じた退団の退職金の額は同じなのか、または変化があるものなのか。



平成29年度外ヶ浜町消防団観閲式一斉放水

酬はアップするが、消防団員の退職金については、また別の組織、消防団退職組合で管理しているので、そちらのほうからはまだ、それに合わせた消防団員の退職金の改定等についての通知は入っていない。



記田慶市議員

農林水産省が発表した水田活用交付金の

急な方針転換の影響は

■答弁▼飼料用米栽培の農家においては非常に厳しい経営が見込まれる



◆質問／農林水産省が4月からの水田活用交付金の見直しを発表した。あまりにも急な方針転換は、県内の農業団体や一部の政党からも白紙に戻すべきとの声や、行政への陳情が相次いでいることが報道されている。わが町のこれまでの農業は、後継者が減少していく将来を見越して、当時の新規大型事業である21世紀型農業のモデルとして、先人たちが農地の集積を理解し、苦勞して着手した事業である。その事業は約20年の歳月をかけて大型機械に対応できる1枚の水田が約1町歩以上の基盤整備事業が、四、五年前に完成したば

かりである。その集大成として生産者が自ら売れる米作り施設であるライスセンターも完成、稼働し、順調にスタートしたばかりの今回の方針転換は、生産者にとって大きな痛手であり、農業の存続すらも危惧する。国や県の指導による集落営農から、町一本化した農業集団組織も立派に定着し、主食米を柱に、転作作物として飼料米や大豆、ソバの営農類型を確立した矢先のことである。高齢者農業を次の世代にバトンを渡せる機会も、はしごを外されたようなものだ。今回の改正点である転作田を5年以内に水田に戻さなければ助成金は

無いものとしているが、蟹田、平館地区の水田農業への影響について伺う。■町長／飼料用米の作付については令和3年度における複数年の作付契約の場合10アール当たり県の助成額8100円、国が1万2000円の助成額となっている。今回の見直しは、飼料用米の令和2年、3年度で、複数契約の場合県は変更なし、国は1万2000円から半額の6千円減額となる。新規作付については令和4年度から県、国とも助成しない。当町における飼料用米交付対象面積は174・75ヘクタールで県助成1千415万円、国2千97万円、合

計3千512万円となっている。令和4年度では国の助成額が半額の1千48万円となることから蟹田が985万円、平館地区が62万円の減収と見込まれる。肥料や燃料、資材の高騰もある中で、今回の国の決定は農家に非常に厳しい経営

になると考えている。◆再質問／すでに転作用の種子等を準備している人もいる。変更するにあたって新たな経費も見込まれるがそれらの対応は。■産業観光課長／東北農政局との会合では特段見込まれていない。



石岡 勉議員

「残渣処理施設の建設」から「残渣処理の解決」

に変えた訳は？

■答弁▼建設の方針は変えない 柔軟かく表現した

◆質問①／「ホタテ残渣処理施設」は町長就任の時から言ってきた言葉だが、今年に入ってから「残渣処理施設の解決」と変わっている。町長の考え方が「処理施設の建設」にこだわらないと理解してよいか。

■町長／町として第一希望は、処理施設建設の方針は変わらないが、他の方法を排除しないという意味で「処理の確立」とした。

◆質問②／新外ヶ浜中央病院の建設について、町長が昨春秋に従来の考えを変更したことで、新たな時間を要することになったが、いつ頃の完成と見込むのか。

■町長／令和4年度に建設場所を決定。令和5年度で用地の取得と新しい基本計画の策定。令和6年度に基本設計と開発行為の許可申請。令和7年度に実施設計としているが同年度の始めに国のヒアリングが必要となる。



令和8年度で敷地の造成。令和9年度から建設に着手すれば令和10年に完成の見込みとなる。◆再質問／新築完成が令和10年度に延びるため、現病院にスプリンクラーの設置が必要となる。その一部の予算が新年度予算に計上されている。場所を見直しするだけで多額の費用と年数を要することになった。減り続ける人口。今別町、蓬田村からの経営に対する協力が見込めないことなどを考え、今一度、事業の規模、場所を考えてみる必要があると思うが。

■町長／病院建設の検討委員会でも、その辺を見込んだうえで計画を策定しているので計画は変えない方針である。

◆質問③／国道280号バイパス中師工区について。山崎町長が初当選した平成29年に蟹田跨線橋から一本松大橋間が開通した。当時、県当局は今後おおむね5年で完成し

たいと話していた。その5年が今年令和4年である。いつになったら完成するのか。■町長／用地の取得が今年度で全体の85%となる見込みで、来年度で完了の予定である。来年度に事業の再評価委員会に諮り、事業期間の延長をずる予定になっている。県側では今後、5年くらいでの完成を考えている。

◆要望／県に対し予算の増額、上積み強く要望し一年でも早く完成していただきたい。県当局、知事に対し「私、山崎結子が町長として目の黒いうちに完成させてください。」くらい言うてくださることを要望する。

◆再質問／柔軟かく表現したと言うが、これは大きな違いだと思う。漁業者側から現状で処理が出てきているから、わざわざ新たに建設しなくても良いとの声もある。



安藤英博議員

水道使用量の基本料金の徴収は大変不合理

改善を求める

■答弁▼減免、もしくは猶予できる条例もある

◆質問①／現在基本水量以下の家庭が45%となっていることに驚いている。一般家庭用水道料金は基本水量8立方メートルで1900円であるが、半分の4立方、2立方メートルでも町民から基本料金として、1ヶ月

1900円徴収していることを改善するべきだ。町長／安定的な水道事業の運営及び経営のためには、困難である。◆再質問／少ない年金生活の高齢者の方々はこれ以上負担が増えるのは大変だということを町長は

認識できないのか。建設課長／年金受給者とかの問題はよく分かる。困ったりした場合に窓口に来ていただければ対応していきたい。

のにも大変で、障がい者の方々も多数いる。町長は、このような状況をどのように捉え、実態をつかんで、どのように感じているのか伺う。

地有償運送事業を実施している。県内の事例としては、五所川原市や平川氏、むつ市、十和田市などがデマンド型タクシーを実施しており路線バスの乗り継ぎ拠点までをつなぐもの等となっている。



蟹田地区浄水場

予約型乗り合いタクシーの導入を

【今後も関係機関との協議を継続していきたい】

◆質問②／県内40市町村の中で高齢者比率がトップの今別町に続いて外ヶ浜町が2番目であり、65歳以上の高齢者が人口の5割を超え、2人に1人が高齢者になっている。町内を路線バスや循環バスが走っているが、自宅からバス停まで遠く歩く

◆再質問／アンケートの結果にもあるように非常に不便をしているという町民の方々が多いので、我が町でもデマンド型交通を導入するために県内の事例など参考にしたい。

◆町長／蓬田村で「たすけあい交通」と称し空白

◆町長／外ヶ浜町には2社のタクシー会社があるがやはり慎重な調整が必要であると考えている。



原 芳雄議員

3回目ワクチン接種予約

つながりなかつた電話の改善を

■答弁▼3回線から5回線を増やして対応した

◆質問／今回の3回目ワクチン集団接種の申し込みは2月3日午前9時から受け付けが始まったが、電話を朝から晩までかけたがつながらないと多くの苦情があり、混乱した。こうした申し込み方法は、改善するよう町に言ってほしいと何人からも云われた。私自身も一日中電話が繋がらず、翌日4人で福祉課に直接出かけた。申し込みをした。他町村の申込み、受け付け方法なども検討しながら混乱のないよう実施して頂きたい。

電話が多数寄せられ、町民の皆さんには多大な御迷惑をおかけしたことをお詫びする。急遽、回線を5回線に増やして対応して、大きな混乱もなく経過しているものと考えている。

増えている感染者

◆質問／東地方保健所管内の新規陽性が増えている。2月10日から16日まで外ヶ浜町では11人から50人、2月24日から3月2日まで1人から10人と東奥日報は報じた。市町村別の感染者は、その都度県から逐一報告され把握できているのか。どの地域で発生しているのか。外ヶ浜町の置かれて

いる状況を町民と共有しながら3密防止を一層強化していく必要があるのではないか。

◆町長／感染者の患者は非公開で取り扱うことを原則として検査で陽性が判明した場合、その居住市町村に感染者数の情報を各市町村に提供されている。これは市町村が独自に感染拡大防止を高めたり、イベント、行事等の開催可否を判断する上での参考になるようにとの事からである。名前は知らされていない。感染防止の点から公表する必要があると判断した場合、必要に応じて県と市町村が協議し、県が公表することになっている。

お子さんの接種はいつ

◆質問／今、小さいお子さんの感染者が増えて青森市やむつ市では5歳から11歳での接種が始まっ

た。年齢の低いお子さんは熱が出れば保育所や学校を休ませるなどしているようであるが、今回の発症者はそうしたことが現れてきていないという話もある。学校に行く、保育所に行き移って行く、移してくる状況が多数みられると言われている。接種の対応はどうなっているか。

◆福祉課長／今高齢者向け、それから64歳以下の方に接種の体制を取っている。ワクチンが入る時期が不透明で今後の体制を中央病院とも協議を経て、改めて協議しながら決めていきたいと思っている。

◆町長／予約開始日当日は、3回線であり、予約専用電話がパンク状態となり、一般回線に苦情の

採決結果

令和3年度（4月～3月まで）に審議された起立採決時の採決結果を公表します。
 ◆ ○=賛成 ●=反対/議長（鈴木 進）は、賛否が同数の場合のみ議長採決。

各定例会	提出議案	議員名												
		福井洋一	浜谷恭市	戎修	石岡勉	高坂茂	三上満	柚谷和穂	原芳雄	安藤英博	記田慶市	鈴木進		
第126回定例会(6月)	令和3年度外ヶ浜町一般会計補正予算案	○	○	○	●	○	○	○	欠	○	●	—	可決	
	外ヶ浜町議会会議規則の一部改正案について	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	—	可決	
第128回定例会(9月)	学校給食の無償化を国に求める請願	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	採択	
	令和2年度外ヶ浜町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定を求める件	○	○	○	●	○	○	○	●	●	○	—	認定	
	令和2年度外ヶ浜町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定を求める件	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	—	認定
	令和2年度外ヶ浜町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定を求める件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	認定
	外ヶ浜町介護老人保健施設使用率及び手数料徴収条例の一部を改正する条例案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決
	コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書(案)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決
第129回臨時会(11月)	学校給食の無償化を国に求める意見書(案)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決	
	外ヶ浜町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例(案)	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決	
第130回定例会(12月)	コロナ禍による米の需給改善と米価下落の対策を求める請願	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	—	採択	
	コロナ禍による米の需給改善と米価下落の対策を求める意見書(案)	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決	
第132回定例会(3月)	令和4年度外ヶ浜町一般会計予算案	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	—	可決	
	令和4年度外ヶ浜町国民健康保険特別会計予算案	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	—	可決	
	令和4年度外ヶ浜町介護保険特別会計予算案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決	
	令和4年度外ヶ浜町後期高齢者医療特別会計予算案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決	
第132回定例会(3月)	令和4年度外ヶ浜町簡易水道事業会計予算案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	可決	

一般質問



福井洋一議員

役場の配布物を月2回に！

■答弁▼行政連絡員の負担が少なくなるよう考えていく

役場から町民への配布物について2点伺う。

◆質問①/行政連絡員に届いてから、いつ町民に届いているか把握をしているのか。現状の配布方法をどのように捉えているのか。

■町長/町として個別に把握していない。現状の配布方法については、各自治会において工夫しながら行っているものと認識している。

◆再質問/10日後、2週間後に町民に届いている例があると伺っている。役場から配布されたものを把握する必要があると考えるが。

■総務課長/なるべく早く配付するようお願いし

ていく。機会を捉え把握していく。

◆質問②/今後も行政連絡員による配布方法を継続していく考えか。

■町長/今の方法を継続していきたい。

◆再質問/配付されている方々の負担軽減のため、月2回の方法に変えてみてはどうか。

■町長/まずは話し合いをしたうえで、なるべく各行政連絡員の方の負担が少なく、そして情報が町民に遅れることなく届く方法を考えてまいりたい。

外ヶ浜町新病院の建設について

◆質問①/去年10月1日

全員協議会報告後の経過を伺う。

■町長/11月2日、12月28日にも、総務課長、建設課長、病院事務長と私で、今何をすべきか、建設場所の候補地、建設場所の取得関係、財政見通し、スプリンクラー設置関係、今後の進め方等について協議、意見交換をしている。

◆再質問/新病院を令和7年6月竣工すること、津波、洪水から町民の命を守る災害対策の取組、現病院へのスプリンクラーを設置すべき費用4,000万円の節約するためにも、現在地である中央病院の所に建設すべきだと考えるが。

■町長/災害になっても緊急搬送ができる場所、災害に強い場所に建てることで話がまとまり、新築移転で、皆さんにも示した。

◆質問②/わが町民をはじめ、近隣の蓬田村民、今別町民も安心して医療が受けられる医療設備を整えた新病院が、一日でも早く完成することを望んでいると考えるが。

■町長/建設場所の絞り込みが難しいのではないかと考えており、私是一般の住民の方にも入ってもらって検討委員会方式がよいのではないかと考えている。

◆再質問/外ヶ浜町新病院建設に関わる基本構想

■町長/場所が変わったとしても、かなりの部分を運用、流用できるものと考えている。



外ヶ浜中央病院

◆再々質問/早期に建設予定地を決め、我々議員にも協議できる場を。

■町長/建設場所を決めていくため基礎調査を令和4年度に実施する。

3 議員に功労表彰

―長年の議会活動に功績―

新型コロナウイルス禍により、書面にて開催された青森県町村議会議長会第72回定期総会において、町村議会議長として35年以上の功労により安藤英博議員が、19年以上の功労により記田慶市副議長が、11年以上の功労により浜谷恭市議員が、それぞれ青森県町村議会議長会から表彰されました。

賞状は3月定例会初日開会前の伝達式において、鈴木議長からそれぞれ手渡されました。



青森県町村議会議長会より表彰
(左から記田副議長、安藤議員、浜谷議員)

お詫びと訂正

議会だより第67号2ページの「蟹田地区水産物荷捌き施設」の写真が、解体事業の対象ではない、新しい施設を掲載してしまいました。正しくは現在の施設の裏手側にある古い荷捌き施設が解体事業の対象となります。読者および関係者の皆様にご迷惑をおかけしたことを深くお詫びし、訂正させていただきます。

解体予定の蟹田地区水産物荷捌き施設



『みなさんの声』 お寄せください

議会だよりでは、議会に関するご意見やご質問、議会だよりへの感想やご要望など、『みなさんの声』を募集しています。

例えば……
・文字が小さくて読みづらい、見出しが見づらい。

・議案について、もう少し細かく教えてほしい。

・他市町村の議会だよりのように、町内の家族なども取り上げてはどうか。

などなど、どんな『声』でもかまいません。よりよい議会だよりを作るために、どうぞ議会事務局(31-1230)までお寄せください。

いただいた『声』は、紙面にて発表させていただくこともあります。その際はご連絡いたします。

議会広報特別委員会

編集後記

ロシアの軍事侵攻からちょうど2カ月の4月24日、役場の回りの桜が満開になった。

旧平舘小学校や御飯屋公園では、それより2日程前に満開になっていたが、つぼみから満開へ、この2日間のスピード感には驚くばかりである。

平舘のバイパスを飾る赤色の強い桜は、一般的なソメイヨシノではなく山桜なのだと言われている。かつて、当時の知事が桜並木を構想し東風に強い樹種ということで選ばれたと聞いている。残念ながら、今現在280号バイパスで並木の姿を残しているのはここだけである。

このまま地域の人々の心を癒し観光客を引き付ける並木として成長し続けて欲しいと願っている。

高坂 茂

議会広報特別委員会

委員長: 戎 修

副委員長: 福井 洋一

委員: 浜谷 恭市/高坂 茂

原 芳雄/安藤 英博

記田 慶市